＜認知症対応型共同生活介護用＞

評 価 結 果 報 告 書

事業所番号	1471902690
法人名	株式会社　ヴィクトリー
事業所名	グループホーム　アイ・ウィッシュ
訪問調査日	平成　19 年　10 月　12 日
評価確定日	平成　19 年　11 月　26 日
評価機関名	社会福祉法人　神奈川県社会福祉協議会

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
Ⅰ．理念に基づく運営	11
1．理念の共有	2
2．地域との支えあい	1
3．理念を実践するための制度の理解と活用	3
4．理念を実践するための体制	3
5．人材の育成と支援	2
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1．一人ひとりの把握	1
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3．多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1．その人らしい暮らしの支援	9
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

○項目番号について
外部評価は30項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
［取り組みの事実］
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
［取り組みを期待したい項目］
確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
［取り組みを期待したい内容］
「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等　＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族　＝家族に限定しています。
運営者　＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝　管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム　＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月26日

[評価実施概要]

事業所番号	1471902690
法人名	株式会社 ヴィクトリー
事業所名	グループホーム アイ・ウィッシュ
所在地	神奈川県横須賀市大矢部3-1-3 大矢部医療・福祉プラザ内 (電 話) 046-830-5759

評価機関名	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会		
所在地	神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2		
訪問調査日	平成 19 年 10 月 12 日	評価確定日	平成 19 年 11 月 26 日

[情報提供票より] (19年 7月 30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 6 月 1 日	
ユニット数	2 ユニット	18 人
職員数	18 人	常勤 10 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 14 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3階建ての 2階 ～ 3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	69,000円		その他の経費(月額)	40,000 円	
敷 金	無				
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(450,000 円)		有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円	
	夕食	円	おやつ	円	
	または1日当たり 1,430 円				

(4) 利用者の概要 (7月 30日現在)

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護1	6 名		要介護2	5 名	
要介護3	6 名		要介護4	1 名	
要介護5	0 名		要支援2	0 名	
年齢	平均 83.4 歳	最低	62 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	まつもと内科クリニック、北久里浜脳神経外科

[外部評価で確認されたこの事業所の特徴]

◆居室は全て東向きで、居間は南に面し広々として明るく、大きなガラス戸越しにすぐ前の公園の緑が眺められる。廊下は車いすが2台通れる広さがあり、全体にゆったりとしている。
◆職員はその人らしい生活を送ることを意識して、利用者が今までの生活と同じように、自分のペースで自由に過ごせるよう、支援している。
◆24時間対応の医療機関と連携し、また、同じビル内にデイサービスを併設している接骨院、皮膚科・薬局があり、健康管理や緊急時体制を整備している。

[重点項目への取り組み状況]

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連項目:外部4)
	利用者に合わせた環境づくりではベランダで花や野菜作りができるようにし、個別の栄養管理が必要な利用者には、医師の指導や食材納入業者の管理栄養士に助言を受けるようにした。定期健康診断は平成19年度から協力医療機関で受けることにし、口腔ケアに関しては訪問歯科医の指導の下で職員が研修を受け食後の口腔ケアを実施している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目:外部4)
	管理者と職員が会議やミーティングで話し合い、管理者が中心になって自己評価に取り
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目:外部4, 5, 6)
	過去5回の運営推進会議は地区のグループホーム8事業所合同で開催し、施設見学を行った後、各事業所の特徴を話し合ったり、今後の運営推進会議の方向性を確認したり、各事業所が抱える課題について事例検討を行った。運営推進会議の内容は事業所内の会議で報告し、サービス向上に活かしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目:外部7, 8)
	職員は家族が訪問してきた時に、意向や要望を受けるように努めている。ホームのイベント時には家族と交流する場を設け、意見交換を行っている。苦情受付担当と苦情解決責任者をホーム内に掲示するとともに、入居時に利用者、家族に説明している。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域の行事などの情報を受けたり、ホームのイベントなどを回覧板を活用して地域に知らせている。公園や買い物に行く店で、地域の方と言葉を交わすなど馴染みの関係となっている。地域のボランティアによる歌や踊りの訪問や、中学生の体験学習の受け入れも行っている。

2. 評価結果(詳細)

(　部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	**○地域密着型サービスとしての理念** 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に「地域社会で生活すること、自分らしい生活」と謳い、ホームでの生活を新たなスタートと捉え、その人らしい生活を送ることを意識して、サービス提供を行っている。また、運営方針にも、地域住民の一員として、地域の方々や福祉・医療・保健などの関係機関との連携を図り、地域の中でともに生活していくとしている。		
2	2	**○理念の共有と日々の取り組み** 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に理念を掲示するとともに、内部研修では「自分が入りたいホームにしよう」と職員間で話し合っている。利用者は趣味に打ち込んだり、廊下の椅子に座ってお喋りをしたり、行きつけの美容院を利用したりと、一人ひとりその人らしく自由に過ごし、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2.地域との支えあい					
3	5	**○地域とのつきあい** 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、回覧板で町内行事等の知らせが届くようになっている。また、ホームのイベント(内覧会、納涼会など)を知らせ、町内の人に来てもらっている。利用者は近くの公園で地域の子どもと会話を楽しんだり、買い物時に店の人と言葉を交わすなど、馴染みの関係を築いている。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	**○評価の意義の理解と活用** 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	3回目の外部評価となるが、会議・ミーティング時に評価の意義について話し合い、管理者を中心に職員が参加して、自己評価に取り組んだ。前回の評価結果を受けて、職員に周知を図り、改善に取り組んでいる。評価結果はファイルに入れて玄関に置き、家族にも見てもらえるようにしている。		
5	8	**○運営推進会議を活かした取り組み** 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地区のグループホーム8事業所合同による運営推進会議を過去5回開催し、市担当者、地域包括支援センター、民生委員が出席した。会議では互いのホームを見学して特徴を話し合ったり、利用者の帰宅願望などについて検討した。市の指導のもと、今後は各事業所ごとに運営推進会議を年4回開催し、地域会議を年2回行うことになっている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	**○市町村との連携** 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	**市担当者とは、ホーム入居に当たって、市外からの入居等の判断に悩む時などに相談している。横須賀市事業所運営推進連絡協議会の研修に出席し、サービスの質の向上に活かしている。**		
4．理念を実践するための体制					
7	14	**○家族等への報告** 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	**月1回、利用者の日常の様子や健康状態、スナップ写真、領収書を添付して預かり金の報告に、ホームの行事予定、職員の異動などを盛り込んだ便り「生活のご様子」を家族に送っている。状況に変化がある時は、随時家族に電話で伝えている。**		
8	15	**○運営に関する家族等意見の反映** 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	**家族が訪問した際に、職員が要望を受けるように努めており、家族からの希望を受け、ミーティングで話し合い、希望通りに対応した具体例がある。家族会はないが、ホームのイベントに家族に参加してもらい、イベントの前後に職員と交流する機会を設けている。**		
9	18	**○職員の異動等による影響への配慮** 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	**異動は最小限に留めている。退職する場合は利用者に「同じビル内のデイサービスへ勉強に行っている」と話している。新任の職員はベテランの職員について、利用者とコミュニケーションが取れるまで研修を受けることで、利用者の職員交代によるダメージを抑えている。家族には毎月のお知らせ「生活のご様子」で報告している。**		
5．人材の育成と支援					
10	19	**○職員を育てる取り組み** 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	**新任研修では「自分が入りたいホームにしよう」を意識しながら、利用者への接遇や介護技術をベテラン職員に付いてOJTで学んでいる。外部研修は参加できる職員が順番に参加し、研修成果は報告書を作成して会議やミーティングで共有化を図っている。**		
11	20	**○同業者との交流を通じた向上** 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	**地区の8事業所合同で、運営推進会議を開催しており、連絡を取り合っている。近隣のグループホームとは、管理者同士が電話で相談出来る関係にある。神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会にも加入し、交流を図っている。**		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	**○馴染みながらのサービス利用** 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に家庭訪問面接を丁寧に行い、納得がいくまで話しを聞き、希望があれば体験入居を受け入れている。入居後は元気な利用者の側に居てもらい、話しかけによる気の紛れを図っている。食事は、テーブルセッティングを工夫して楽しめる雰囲気づくりに配慮している。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	**○本人と共に過ごし支えあう関係** 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者からは、生活の知恵や家事の工夫を教えてもらい、生活場面で活かしている。職員が汚れた絨毯を洗って干そうとしていたら、「手伝ってやるよ」と声をかけられ手伝ってもらったことがある。訪問調査日の昼食で、職員が利用者から海草について教わっている場面も見られた。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	**○思いや意向の把握** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者と接する中で意向を受け止め、ミーティングで共有し実現に努めている。絵画や書などの趣味に打ち込んだり、日曜礼拝に出かけたり可能な限り利用者の意向に沿った暮らしができるよう支援している。訪問調査日も、居室でテレビを見ている人、ベランダで日向ぼっこをしている人、居間の椅子に座っている人など思い思いに過ごしていた。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	**○チームでつくる利用者本位の介護計画** 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	入居時のアセスメントや家族の要望等と併せて、利用者一人ひとりの日々の様子や健康状態を細かく記録している。ミーティングで情報を共有し、職員、計画作成担当者、管理者でケアカンファレンスを行い検討して介護計画に反映している。介護計画書に家族の署名と押印をもらっている。		
16	37	**○現状に即した介護計画の見直し** 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月ごとに、職員4名位でモニタリングを行い介護計画の見直しを行い、認定期間に合わせて作り直している。また利用者に体調などの変化があった場合には、その都度対応方法を検討して見直しをしている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3．多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	**○事業所の多機能性を活かした支援** 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同じビル内にある同一法人の接骨院から週2回訪問マッサージ、機能訓練を受けている。また接骨院に併設しているデイサービス施設の訓練機械の利用も可能である。24時間対応の医療機関との連携や、同じビル内の診療所の看護師に相談できる体制も整備している。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	**○かかりつけ医の受診支援** 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の半数は入居前からのかかりつけ医を受診しており、通院は家族(場合により職員)が付き添い、受診後は報告を受けて情報を共有している。		
19	47	**○重度化や終末期に向けた方針の共有** 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の対応については、入居時に本人･家族にホームの方針を説明し、職員間では見取り看護指針に沿って看取ることを基本に話し合い共有している。24時間対応の協力医療機関と連携しており、利用者が重度化した場合や終末期には、早い段階から家族や主治医を交えて話し合いを行うことにしている。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1．その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	**○プライバシーの確保の徹底** 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳やプライバシーを損ねるような言動が職員に見られた時は、その都度管理者が注意、指導している。個人記録は鍵のかかるロッカーに保管し、パソコン設置も外部からモニター画面が見えないように配慮している。		
21	52	**○日々のその人らしい暮らし** 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大まかな決まりはあるが、利用者は絵を描いたり写経をしたり自由にゆったり過ごしている。日曜日に教会の礼拝に行く利用者もいる。訪問した日はベランダのベンチに座って日向ぼっこをしている利用者を見受けた。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	**職員は利用者と食事を共にしながら、一人ひとり輝いていた頃の話をしてもらったり、嗜好を聞いたりして楽しい食事になるよう配慮している。食事作りでは下ごしらえや盛り付けなどを職員と一緒にすることもあり、食後はそれぞれで下膳し、テーブルを拭く人もいる。**		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	**入浴は最低で週2回以上、とだけ決め、回数、時間、長さなど好みに合わせて入ることができ、週4回入っている人もいる。入浴を嫌がる人には「血圧を測りましょう」と優しく誘導し、タイミングを見て入浴に持っていくなど工夫している。**		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	**職員が掃除を始めると、率先して手すりを拭く人やモップで床を拭く人がいる。男性の方はベランダの花や野菜に水をやる人や食材を玄関から台所まで運んでくれるなど、自然に役割分担が決まっている。タバコやお酒、おやつなどの嗜好品は時間や場所の制約はあるが楽しめるように支援している。**		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	**隣接している公園は気分転換によく利用している。利用者が希望した時に、近所のコンビニに買い物に行ったり、美容院に出かけることもある。車椅子の利用者もリフト車を利用して、季節に合わせお花見や海、クリスマスイルミネーションなどを見に出かけている。**		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	**1階玄関の前が交通量の多い道路であることや、ホーム入口前にエレベーターがあるので、安全を第一と考え、終日施錠している。**		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	**消防署と連絡を取り、年2回防災訓練を実施している。夜間訓練の時は町内会長に連絡して協力を得ている。消防署への非常通報設備をはじめ、火災報知機、非常照明設備、避難路を確保している。**		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	**○栄養摂取や水分確保の支援** 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	**利用者一人ひとりの摂食量･水分量を記録して把握している。栄養管理された食材納入業者を利用しており、総カロリーを低めに抑えているので、カロリー制限のある人にも対応できるようになっている。総カロリーが毎日の献立に記入されている。**		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	**○居心地のよい共用空間づくり** 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	**ホームの共用空間は明るく広さもあり清潔に保たれていた。壁には利用者が描いた絵が掛けられ、利用者も参加して創作した季節感がある装飾品や利用者のスナップ写真も飾られている。開口部が少しずつ開けられており、換気がされて空気のよどみ等は感じられなかった。**		
30	83	**○居心地よく過ごせる居室の配慮** 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	**入居時に「使い慣れたものを持ってきてください」と伝えてあり、居室には利用者の使い慣れた整理ダンスやテーブル、仏壇などが持ち込まれ、家族の写真、ぬいぐるみなどを飾り、それぞれの好みに設えられている。**		

自 己 評 価 票

○ 自己評価は全部で100項目あります。
○ これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
○ 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
○ 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事業実に基づいて具体的に記入しましょう。

○ 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ．理念に基づく運営	22
1．理念の共有	3
2．地域との支えあい	3
3．理念を実践するための制度の理解と活用	5
4．理念を実践するための体制	7
5．人材の育成と支援	4
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1．一人ひとりの把握	3
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3．多機能性を活かした柔軟な支援	1
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1．その人らしい暮らしの支援	30
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ．サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

［取り組みの事実］
ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

［取り組んでいきたい項目］
今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

［取り組んでいきたい内容］
「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

［特に力を入れている点・アピールしたい点］（アウトカム項目の後にある欄です）
日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族 ＝家族に限定しています。
運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム アイ・ウィッシュ
（ユニット名）	グループホーム アイ・ウィッシュ　2階
所在地（県・市町村名）	横須賀市大矢部三丁目1番3号　大矢部医療・福祉プラザ2階
記入者名（管理者）	石川 淳司
記入日	平成19年7月29日

地域密着型サービス評価の自己評価票

（ ▒ 部分は外部評価との共通評価項目です ）

取り組んでいきたい項目

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	**○地域密着型サービスとしての理念** **地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている**	地域密着型サービスとしての独自の理念を作り上げています。	○	事業所全体でも意識を高め、地域に密着したサービスを提供していきたい。
2	**○理念の共有と日々の取り組み** **管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる**	新任職員研修において周知するとともに、施設玄関に提示、またミーティング等の機会に再度周知･共有し、実践場面で取り組んでいます。	○	ご利用者の権利を尊重し、基本理念に沿って「自分らしい生活」を守れるよう実行しております。
3	**○家族や地域への理念の浸透** **事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる**	ご利用者は、地域住民の一員である趣旨を盛り込んだ運営規定を入居契約時または入居時にご家族･ご本人に説明し理解していただいています。	○	見学会等の機会も増やし、更に地域の方々との交流を深め、理念の浸透を図っていきたい。
2．地域との支えあい				
4	**○隣近所とのつきあい** **管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている**	近隣公園やスーパー等で、気軽に話しかけたりしている。但し、気軽に立ち寄ってもらえる体制はとれていない。	○	今後も、町内会･自治会等に参加し、近隣の方々との交流を深め、気軽に立ち寄って頂けるような雰囲気作りを行っていきたい。
5	**○地域とのつきあい** **事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている**	常に地域交流を意識しております。徐々に、ご利用者とともに地域行事等参加をしております。	○	今後も、積極的に地域交流の場に参加し、地域活動に取り組んでいきたい。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	**○事業所の力を活かした地域貢献** **利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる**	高齢者福祉に関する相談窓口は設けている。	○	地域の研修や啓発の場に参加し、近隣への高齢者の方に声かけし施設内でのコミュニケーションの場となるようケアサービスの推進に努めていきたい。
3.理念を実践するための制度の理解と活用				
7	**○評価の意義の理解と活用** **運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる**	普段、気づかない点を第三者の視点で見て頂く事により、ご利用者にとってより良い環境を提供できると認識している。施設玄関に過去の評価を設置し、職員のみならずご利用者･ご家族等もいつでも閲覧できる体制にしている。前回の指摘事項を中心に改善に取り組んでいる。	○	前回指摘を受けた問題点について、関係各所と連携をとり、改善致しました。
8	**○運営推進会議を活かした取り組み** **運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている**	施設見学会や施設で抱えている問題点等を行政･民生委員･地域包括支援センターを交え話し合いを行っています。また、運営推進会議で話し合い決定した事項を事業所内の定例会議にて全職員へ報告し、サービス向上に努めております。	○	今後も、運営推進会議等を通じ、更なるサービス向上につなげていきたい。
9	**○市町村との連携** **事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる**	運営推進会議以外の場は、現在設けておりませんが、問題点等があるときは都度市役所へ出向くか連絡を取り、相談等を行っています。	○	今まで以上に、市町村等へ行き来する機会を増やし、サービス向上へ取り組んでいきます。
10	**○権利擁護に関する制度の理解と活用** **管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している**	ご家族等いない方たちに対して、成年後見人制度等の紹介や説明を行い活用できるよう支援しております。	○	外部研修に参加し、施設内で伝達講習を行っていきます。管理者以外でも説明等できるようにしていきたい。
11	**○虐待の防止の徹底** **管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている**	事業所内にて研修を行うと伴に、職員同士の意識を高めることにより、虐待防止に努めてます。	○	虐待についての外部研修に積極的に参加し、意識向上につなげ職員全体で改めて再認識の場を持ちたい。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容·実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	**○契約に関する説明と納得** **契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている**	重要事項説明書を基に、ご家族に説明し、質問等を受け付け納得よう説明し、契約して頂いております。		
13	**○運営に関する利用者意見の反映** **利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている**	苦情受付担当と苦情解決責任者を設け、ただちに改善できるよう努めております。又、苦情相談に関する掲示も施設玄関にしており、第三者へも相談できる趣旨を記載している。入居契約時または入居時にも説明している。	○	現在、苦情等は上がっていないが、苦情が出た際には、速やかに解決し、また今後のサービス向上につなげられるように致します。
14	**○家族等への報告** **事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている**	月に一度、ご利用者のスナップ写真や生活の状況等をお便りにして送付しております。預かり金の使用内訳や領収書も併せて送付しております。健康状態、生活状況の変化が見られる場合はその都度、ご家族等へ電話での早期報告をしております。		
15	**○運営に関する家族等意見の反映** **家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている**	苦情受付担当と苦情解決責任者を設け、ただちに改善できるよう努めております。又、苦情相談に関する掲示も施設玄関にしており、第三者へも相談できる趣旨を記載している。入居契約時または入居時にも説明している。	○	現在、苦情等は上がっていないが、苦情が出た際には、速やかに解決し、また今後のサービス向上につなげられるように致します。
16	**○運営に関する職員意見の反映** **運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている**	月に一度の事業部会議並びに三ヶ月に一度の定例会議の場を意見交換の場とし、話し合い検討している。	○	職員が気軽に話せるよう、場の雰囲気を提供している。
17	**○柔軟な対応に向けた勤務調整** **利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている**	緊急時は、必ず管理者へ報告するよう職員間にて徹底している。また必要に応じすぐに駆けつけられる体制を確保している。各職員へも連絡網にてスムーズな連絡を行っている。	○	日勤者と夜勤者との引継ぎをスムーズに行う為、基本的には夜勤は常勤職員に限定している。また管理者とは24時間オンコール体制をとっている。
18	**○職員の異動等による影響への配慮** **運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている**	ご利用者の状況を踏まえ、異動は最小限に留めている。新任職員入社の際は、コミュニケーションが図れるまで馴染みの職員と同行している。	○	諸事情により退職する場合には、できる限り1ヶ月以上前に連絡してもらえるよう職員にはお願いしている。退職が決まった際には速やかに募集をし、補充している。また新任研修には3ヶ月間要しご利用者とコミュニケーションが図れるよう指導している。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5．人材の育成と支援				
19	**○職員を育てる取り組み** **運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている**	月一度の事業部会議及び3ヶ月に一度の定例会議にて、研修内容を各職員から募り、様々な職員の疑問解決に努めている。また、外部研修には積極的に参加し、その外部研修を内部研修とし、他職員へ伝達している。	○	随時、様々な視点の外部研修に参加し、内部研修を実施していきたい。
20	**○同業者との交流を通じた向上** **運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている**	運営推進会議にて地域の同業者との交流し、勉強会やネットワークづくりをしております。	○	当事業所は市内にもう1ヵ所クグループホームを経営しており、随時勉強会を実施し、サービスの質の向上に努めています。
21	**○職員のストレス軽減に向けた取り組み** **運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる**	管理者が常に、職員の意見・疑問を聞ける場を設けており、職員のストレス状況の把握・改善に努めております。		
22	**○向上心を持って働き続けるための取り組み** **運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている**	個々の職員の状況を把握し、個人に比重がかからないよう勤務表は十分配慮している。また能力を把握し適材適所の配置を心掛け向上心を持って働ける場を提供している。	○	就業規則に従い、従事している。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 **1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応**				
23	**○初期に築く本人との信頼関係** **相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている**	入居申し込み者（ご本人・ご家族等）に対し、自宅等へ計画作成担当者・介護職員と出向き、話を傾聴し、見合ったサービスの提案をさせて頂く。また利用の意向の際には、グループホームの状況等を納得して頂けるまで説明している。	○	相談者に対し、対応する職員は常に、受容と傾聴を心がけている。
24	**○初期に築く家族との信頼関係** **相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている**	必ず、自宅等へ訪問し現状、困っていること等をお聞きし、グループホーム入居において改善できる点・出来ない点等を良く話し合い入居に結び付けている。	○	相談者に対し、対応する職員は常に、受容と傾聴を心がけている。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	**○初期対応の見極めと支援** **相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている**	面接時のアセスメントを基に、現ケアマネジャーに連絡･相談し、最善のサービスを提供できるように支援している。		
26	**○馴染みながらのサービス利用** **本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している**	施設の説明や見学を随時行い、また実際に体験サービスも実施し、納得の上入居して頂いている。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	**○本人と共に過ごし支えあう関係** **職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている**	ご利用者の意見を尊重し、人生の先輩として様々な学びを日々受けております。また、貴重な意見を生活環境の改善にできるよう反映させている。	○	調理や掃除･洗濯等の豆知識は為になる事が多く、現場にて実践しています。
28	**○本人を共に支えあう家族との関係** **職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている**	ご家族等への報告、相談をすることにより、共にご利用者へ様々な視点から支援できるよう努めている。	○	事業者本位のケアにならないよう努めている。
29	**○本人と家族のよりよい関係に向けた支援** **これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している**	ご家族等からの意見を取り入れた上で、関係の理解に努め、より良い関係が築けるよう支援している。		
30	**○馴染みの人や場との関係継続の支援** **本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている**	ご利用者の生活歴等を把握した上で、外出や面会の窓口も広げている。		
31	**○利用者同士の関係の支援** **利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている**	ご利用者、個々で孤立しないよう職員が間に入り、利用者同士の架け橋になれるよう努めている。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	**○関係を断ち切らない取り組み** **サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている**	退居後も、様々な意見や相談を受け入れ、ご本人の入院等の場合は、面会へ行ったり等交流を継続しいる。	○	今後も、退居後の継続的なより良い関係を築いていけるよう努めていきます。
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント **1. 一人ひとりの把握**				
33	**○思いや意向の把握** **一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している**	定期的な、カンファレンスによりご利用者の意向を取り入れたケアにつながるよう、検討に努めている。	○	より、ご利用者の意見を尊重し、ご本人本位のケアにあたれる様努めていきます。
34	**○これまでの暮らしの把握** **一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている**	ご家族や、ご本人の意見を反映し、様々な情報を取り入れサービス内容の検討に努めている。		
35	**○暮らしの現状の把握** **一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている**	個々のご利用者の身体面、精神面の把握を行い、日々変化の下現状把握が行えるよう、職員間においても情報を共有しケアにあたっている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	**○チームでつくる利用者本位の介護計画** **本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している**	カンファレンスにおいて様々な視点からの意見を取り入れ、ご利用者個々の状況に合わせた計画作成が出来るよう努めております。また、ご利用者主体である計画作成になるよう努めている。	○	関係各所に連絡を取り、カンファレンスに出席頂いている。
37	**○現状に即した介護計画の見直し** **介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している**	ご利用者の状況を常に把握し、随時適正に応じたプランの作成を、ご本人･ご家族等･職員にて行っている。	○	関係各所に連絡を取り、カンファレンスに出席頂いている。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	**○個別の記録と実践への反映** **日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている**	日々の記録に関しては、日中→黒･夜間→青･医療面→赤にて明確にし、職員個々での確認も徹底し、また日々の申し送りにて情報を共有し実践し、介護計画への見直し等へ反映できるよう努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	**○事業所の多機能性を活かした支援** **本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている**	常に、ご利用者やご家族等の意見を聞き入れ、外出･外泊または、ご家族等の宿泊などに対応できるように努めております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	**○地域資源との協働** **本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している**	近隣の方々に理美容や民謡･踊り･唄等のボランティアに来て頂いている。また、安心して暮らせるよう警察へは施設周辺の適時見回りもお願いしている。	○	地域資源の活用をもっと検討し、ご利用者本位の支援が出来るよう努めていきたい。
41	**○他のサービスの活用支援** **本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている**	24時間対応の医療機関との連携を行っています。他のサービスへの支援は必要に応じて検討します。	○	今後、必要性に応じて他のサービス利用も積極的に取り入れていきたい。
42	**○地域包括支援センターとの協働** **本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している**	運営推進会議にて地域包括支援センターと連絡･相談を行っている。	○	今後、地域包括センターと協働していきます。
43	**○かかりつけ医の受診支援** **本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している**	ご本人･ご家族の希望のかかりつけ医の継続を行い。ご利用者個々の、身体面･精神面を把握し、変化がある場合はご家族等や主治医へ相談･報告をし早期対応が行えるよう努めております。その他に医療面では24時間対応の支援も提携しております。	○	医療面においては、24時間安心して頂けるよう、今後も検討･支援していきます。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	**○認知症の専門医等の受診支援** **専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している**	メンタルクリニックとも連携を結び、日々のご利用者の変化に応じて連絡･相談し、早期的な対応が行えるように努めております。また、必要なご利用者においては往診も実施しています。		
45	**○看護職との協働** **利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている**	同じ建物内の看護師、または施術師等からアドバイスを頂き、健康管理に活用している。また、24時間対応の医師と連携している。		
46	**○早期退院に向けた医療機関との協働** **利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している**	入院時、病院側とご利用者の情報の共有を行っております。退院後、リハビリ等の対応においては、整骨院との協働により早期回復にも努めています。		
47	**○重度化や終末期に向けた方針の共有** **重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している**	入居契約時において、終末期における当施設の対応について説明しております。また終末期において早い段階から主治医と連携を取り、ご本人･ご家族等と都度話し合いの場を持ち、方向性の共有を図っています。	○	ご利用者･ご家族等と主治医を交え、早期的な検討を行い全体での情報共有に努めております。
48	**○重度化や終末期に向けたチームでの支援** **重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている**	入居契約時において、当施設での対応できる範囲を説明し、納得して頂いております。重度及び終末期においては職員		
49	**○住み替え時の協働によるダメージの防止** **本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている**	転移の場合は、ご利用者･ご家族等との以後の想定を踏まえて綿密に話し合い、移転先には必要な情報を提供し、転移後も相談･援助しダメージの軽減を図れるよう努めております。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	**○プライバシーの確保の徹底** **一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない**	ご利用者への配慮を心掛けた声かけできるよう、職員へ接遇の徹底をしております。職員間でのご利用者の情報共有においてもプライバシーの侵害をしないよう配慮しております。また、記録等の保管は鍵つきの棚に収納しています。	○	個人情報が格納してあるパソコン等の媒体は席を外す際は、シャットダウンするとともに、使用時もモニターが外部から見えないように設置しています。
51	**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** **本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている**	会話の中で、利用者様主体になるよう声かけに工夫し、自己決定できるよう支援しています。		
52	**○日々のその人らしい暮らし** **職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している**	ご利用者の個々の要望を取り入れ、日常会話の中からその日の大まかな予定を決め行動実施できるよう支援しています。	○	起床・食事・入浴の時間や食事のメニュー等、できる限りご希望に添えるように支援しています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	**○身だしなみやおしゃれの支援** **その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている**	月に一度、理美容の機会を持ち、身だしなみはご本人の意思に合わせられるよう行っています。また、希望がある場合は外出の機会とし外での美容院へも出かけています。		
54	**○食事を楽しむことのできる支援** **食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている**	職員も一緒に食事をすることにより、ご利用者の嗜好等、その場での意見を反映できるよう努めています。また、調理や配膳・下膳など個々の出来る範囲内で職員と共に実施している。	○	出来る範囲内にて協力して行っています。
55	**○本人の嗜好の支援** **本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している**	ご本人が望む好みの物に関して、時間等の制限はありますが日常的に楽しめるよう支援しています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者個々の排泄パターンを把握し、定時誘導・声かけを行い、失禁軽減に努めております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	「最低一日おき」と定め、ご利用者の希望にて実施。入浴時間においてもなるべく意向に添えるよう、夕食後も実施している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ご利用者の状況に応じて、適宜休息したり、就寝時間の声掛けをしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者個々の生活歴の中での役割等を見出し、日常生活の活性化を行っています。	○	家庭菜園が出来るよう、ベランダを開放しました。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的なお金の管理は施設にて行っていますが、外出の際買い物などに関しては、ご自身にて支払いなど出来る方等、職員と共に実施しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・外出の機会を作り、また希望時にも実施しております。公園が隣接している為、気分転換によく利用しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	リフト車を活用し、車椅子ご利用者でも遠方へ外出できるように支援しています。また、ワゴン車にて定期的に他のご利用者と一緒にドライブにも出かけています。	○	出来る限り希望に添えるよう対応し、外出支援を行います。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じ、電話をご本人から掛ける、または職員にて代行するなどし、支援しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は決めておりますが、面会があった際は自由に施設内を使用していただき、居室やリビング等で有意意義に過ごして頂いています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	各職員への認識確認を徹底し、拘束のないケアに従事しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は終日開放しているが、玄関は昼夜問わず施錠している。	○	職員の更なるスキルアップを図り、常時施錠の開放を目指します。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各職員声かけのもと連携を取り、ご利用者の所在確認、状況確認に努めています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意しなくてはいけない物の判断を随時見直し、すぐに取り除くのではなく危険回避の検討とともに取り組んでいる。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修にて職員の知識はスキルアップを図れるよう努めております。ご利用者の事故への可能性を検討し防止につなげ、事故に関しては起きてしまった場合は必ず、職員全体で話し合いを随時行い、再認識とともに事故防止に努めております。	○	ヒヤリハット・事故報告書を活用し事故軽減、事故防止への再認識、向上を図っています。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルを用いて対応するよう職員へ徹底しています。また救急法の研修にも随時参加し、定期的に研修を兼ねた訓練も実施しています。	○	
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な避難訓練の実施をしています。	○	地域との協力、連携を拡げていく。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ご利用者の様々な身体・精神面での変化などを、ご家族への報告。現状の対応への相談し解決にあたっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	必要時のバイタル測定とともに、実際に職員が触れ感じ、報告する事を業務内に取り入れ、体調の変化に対応し早期発見に努め主治医と連携しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬チェックや個々の服薬情報を職員内で共有し、把握に努めています。随時、身体面・精神面での変化等主治医との相談の上、検討実施しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	ご利用者個々に応じた、排便の有無を確認上、体操や食事の工夫を行っています。また、下剤の使用については主治医相談のもと正しい使用法にて行っています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔介助、または口腔声かけ等実施。また、歯科往診時に口腔ケアの実施と職員への知識向上指導をして頂き、日々のケアにて実施できるよう努めています。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
77	**○栄養摂取や水分確保の支援** **食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている**	個別に栄養管理が必要なご利用には医師より、療養管理指導書、また医療管理下ではないが体重増加等が目立つご利用者など、必要に応じて食材納入業者の管理栄養士に都度、問い合わせ指導助言を頂いております。		
78	**○感染症予防** **感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）**	感染予防の呼びかけを職員へ行い徹底しております。 インフルエンザ予防接種は毎年実施しております。	○	感染症に対する勉強会の実施、職員認識の再確認。
79	**○食材の管理** **食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている**	衛生面に気をつけ消毒・過熱等管理を行い、予防に努めております。食材においては、業者から毎日配送にて鮮度管理実施。		
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり **（1）居心地のよい環境づくり**				
80	**○安心して出入りできる玄関まわりの工夫** **利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている**	装飾品なで季節感を感じていただけるよう努めています。		
81	**○居心地のよい共用空間づくり** **共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている**	清潔面を気をつけ、季節感のある装飾などで工夫しています。		
82	**○共用空間における一人ひとりの居場所づくり** **共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている**	食堂兼リビングでの談笑の場の提供等実施。また、喫煙場所の確保も行っております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
83	**○居心地よく過ごせる居室の配慮** **居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている**	基本的に入居の際、ご本人の使い慣れたものなどを使用していただき居室内はご自由に、ご本人・ご家族の意見を取り入れた環境になっております。		
84	**○換気・空調の配慮** **気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている**	ご利用者に合わせた温度設定をし、常に換気を行い過ごしやすい環境になるよう努めています。		
（2）本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	**○身体機能を活かした安全な環境づくり** **建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している**	トイレ・浴室・廊下等に手すりを設置する等、ご利用者に合った、環境整備を行っております。		
86	**○わかる力を活かした環境づくり** **一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している**	ご利用者個々の状況に合わせ、声かけの工夫を行い混乱や失敗を防ぐよう努めています。残存機能を活かした介助にあたれるよう職員への育成も行っています。		
87	**○建物の外周りや空間の活用** **建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている**	ベランダを家庭菜園・園芸の場として提供し、隣接する公園にも希望し応じて散策に出かけている。		

Ⅴ. サービスの成果に関する項目

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点･アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

居室は全て東側に位置し、リビングルームは南側に面し、日当たりが良好である。ベランダからは隣接した公園が展望でき、格好のくつろぎスペースとなっている。1階には接骨院と調剤薬局、2階には皮膚科が入っており、また24時間往診の医療機関との連携により医療面では安心して頂ける体制をとっている。

自 己 評 価 票

○ 自己評価は全部で100項目あります。
○ これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
○ 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
○ 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

○ 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ．理念に基づく運営	22
1．理念の共有	3
2．地域との支えあい	3
3．理念を実践するための制度の理解と活用	5
4．理念を実践するための体制	7
5．人材の育成と支援	4
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1．一人ひとりの把握	3
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3．多機能性を活かした柔軟な支援	1
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1．その人らしい暮らしの支援	30
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ．サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

［取り組みの事実］
ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

［取り組んでいきたい項目］
今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

［取り組んでいきたい内容］
「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

［特に力を入れている点・アピールしたい点］（アウトカム項目の後にある欄です）
日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族 ＝家族に限定しています。
運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム アイ・ウィッシュ
（ユニット名）	グループホーム アイ・ウィッシュ　3階
所在地（県・市町村名）	横須賀市大矢部三丁目1番3号　大矢部医療・福祉プラザ3階
記入者名（管理者）	石川 淳司
記入日	平成19年7月29日

地域密着型サービス評価の自己評価票

（ 　　 部分は外部評価との共通評価項目です ）

取り組んでいきたい項目

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	**○地域密着型サービスとしての理念** **地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている**	地域密着型サービスとしての独自の理念を作り上げています。	○	事業所全体でも意識を高め、地域に密着したサービスを提供していきたい。
2	**○理念の共有と日々の取り組み** **管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる**	新任職員研修において周知するとともに、施設玄関に提示、またミーティング等の機会に再度周知・共有し、実践場面で取り組んでいます。	○	ご利用者の権利を尊重し、基本理念に沿って「自分らしい生活」を守れるよう実行しております。
3	**○家族や地域への理念の浸透** **事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる**	ご利用者は、地域住民の一員である趣旨を盛り込んだ運営規定を入居契約時または入居時にご家族・ご本人に説明し理解していただいています。	○	見学会等の機会も増やし、更に地域の方々との交流を深め、理念の浸透を図っていきたい。
2．地域との支えあい				
4	**○隣近所とのつきあい** **管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている**	近隣公園やスーパー等で、気軽に話しかけたりしている。但し、気軽に立ち寄ってもらえる体制はとれていない。	○	今後も、町内会・自治会等に参加し、近隣の方々との交流を深め、気軽に立ち寄って頂けるような雰囲気作りを行っていきたい。
5	**○地域とのつきあい** **事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている**	常に地域交流を意識しております。徐々に、ご利用者とともに地域行事等参加をしております。	○	今後も、積極的に地域交流の場に参加し、地域活動に取り組んでいきたい。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	**○事業所の力を活かした地域貢献** **利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる**	高齢者福祉に関する相談窓口は設けている。	○	地域の研修や啓発の場に参加し、近隣への高齢者の方に声かけし施設内でのコミュニケーションの場となるようケアサービスの推進に努めていきたい。
3．理念を実践するための制度の理解と活用				
7	**○評価の意義の理解と活用** **運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる**	普段、気づかない点を第三者の視点で見て頂く事により、ご利用者にとってより良い環境を提供できると認識している。施設玄関に過去の評価を設置し、職員のみならずご利用者･ご家族等もいつでも閲覧できる体制にしている。前回の指摘事項を中心に改善に取り組んでいる。	○	前回指摘を受けた問題点について、関係各所と連携をとり、改善致しました。
8	**○運営推進会議を活かした取り組み** **運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている**	施設見学会や施設で抱えている問題点等を行政･民生委員･地域包括支援センターを交え話し合いを行っています。また、運営推進会議で話し合い決定した事項を事業所内の定例会議にて全職員へ報告し、サービス向上に努めております。	○	今後も、運営推進会議等を通じ、更なるサービス向上につなげていきたい。
9	**○市町村との連携** **事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる**	運営推進会議以外の場は、現在設けておりませんが、問題点等があるときは都度市役所へ出向くか連絡を取り、相談等を行っています。	○	今まで以上に、市町村等へ行き来する機会を増やし、サービス向上へ取り組んでいきます。
10	**○権利擁護に関する制度の理解と活用** **管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している**	ご家族等いない方たちに対して、成年後見人制度等の紹介や説明を行い活用できるよう支援しております。	○	外部研修に参加し、施設内で伝達講習を行っていきます。管理者以外でも説明等できるようにしていきたい。
11	**○虐待の防止の徹底** **管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている**	事業所内にて研修を行うと伴に、職員同士の意識を高めることにより、虐待防止に努めてます。	○	虐待についての外部研修に積極的に参加し、意識向上につなげ職員全体で改めて再認識の場を持ちたい。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容·実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4．理念を実践するための体制				
12	**○契約に関する説明と納得** **契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている**	重要事項説明書を基に、ご家族に説明し、質問等を受け付け納得よう説明し、契約して頂いております。		
13	**○運営に関する利用者意見の反映** **利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている**	苦情受付担当と苦情解決責任者を設け、ただちに改善できるよう努めております。又、苦情相談に関する掲示も施設玄関にしており、第三者へも相談できる趣旨を記載している。入居契約時または入居時にも説明している。	○	現在、苦情等は上がっていないが、苦情が出た際には、速やかに解決し、また今後のサービス向上につなげられるように致します。
14	**○家族等への報告** **事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている**	月に一度、ご利用者のスナップ写真や生活の状況等をお便りにして送付しております。預かり金の使用内訳や領収書も併せて送付しております。健康状態、生活状況の変化が見られる場合はその都度、ご家族等へ電話での早期報告をしております。		
15	**○運営に関する家族等意見の反映** **家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている**	苦情受付担当と苦情解決責任者を設け、ただちに改善できるよう努めております。又、苦情相談に関する掲示も施設玄関にしており、第三者へも相談できる趣旨を記載している。入居契約時または入居時にも説明している。	○	現在、苦情等は上がっていないが、苦情が出た際には、速やかに解決し、また今後のサービス向上につなげられるように致します。
16	**○運営に関する職員意見の反映** **運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている**	月に一度の事業部会議並びに三ヶ月に一度の定例会議の場を意見交換の場とし、話し合い検討している。	○	職員が気軽に話せるよう、場の雰囲気を提供している。
17	**○柔軟な対応に向けた勤務調整** **利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている**	緊急時は、必ず管理者へ報告するよう職員間にて徹底している。また必要に応じすぐに駆けつけられる体制を確保している。各職員へも連絡網にてスムーズな連絡を行っている。	○	日勤者と夜勤者との引継ぎをスムーズに行う為、基本的には夜勤は常勤職員に限定している。また管理者とは24時間オンコール体制をとっている。
18	**○職員の異動等による影響への配慮** **運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている**	ご利用者の状況を踏まえ、異動は最小限に留めている。新任職員入社の際は、コミュニケーションが図れるまで馴染みの職員と同行している。	○	諸事情により退職する場合には、できる限り1ヶ月以上前に連絡してもらえるよう職員にはお願いしている。退職が決まった際には速やかに募集をし、補充している。また新任研修には3ヶ月間要しご利用者とコミュニケーションが図れるよう指導している。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5．人材の育成と支援				
19	**○職員を育てる取り組み** **運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている**	月一度の事業部会議及び3ヶ月に一度の定例会議にて、研修内容を各職員から募り、様々な職員の疑問解決に努めている。また、外部研修には積極的に参加し、その外部研修を内部研修とし、他職員へ伝達している。	○	随時、様々な視点の外部研修に参加し、内部研修を実施していきたい。
20	**○同業者との交流を通じた向上** **運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている**	運営推進会議にて地域の同業者との交流し、勉強会やネットワークづくりをしております。	○	当事業所は市内にもう1ヵ所クグループホームを経営しており、随時勉強会を実施し、サービスの質の向上に努めています。
21	**○職員のストレス軽減に向けた取り組み** **運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる**	管理者が常に、職員の意見･疑問を聞ける場を設けており、職員のストレス状況の把握･改善に努めております。		
22	**○向上心を持って働き続けるための取り組み** **運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている**	個々の職員の状況を把握し、個人に比重がかからないよう勤務表は十分配慮している。また能力を把握し適材適所の配置を心掛け向上心を持って働ける場を提供している。	○	就業規則に従い、従事している。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 **1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応**				
23	**○初期に築く本人との信頼関係** **相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている**	入居申し込み者(ご本人･ご家族等)に対し、自宅等へ計画作成担当者･介護職員と出向き、話を傾聴し、見合ったサービスの提案をさせて頂く。また利用の意向の際には、グループホームの状況等を納得して頂けるまで説明している。	○	相談者に対し、対応する職員は常に、受容と傾聴を心がけている。
24	**○初期に築く家族との信頼関係** **相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている**	必ず、自宅等へ訪問し現状、困っていること等をお聞きし、グループホーム入居において改善できる点･出来ない点等を良く話し合い入居に結び付けている。	○	相談者に対し、対応する職員は常に、受容と傾聴を心がけている。

	項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている		面接時のアセスメントを基に、現ケアマネジャーに連絡･相談し、最善のサービスを提供できるように支援している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している		施設の説明や見学を随時行い、また実際に体験サービスも実施し、納得の上入居して頂いている。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている		ご利用者の意見を尊重し、人生の先輩として様々な学びを日々受けております。また、貴重な意見を生活環境の改善にできるよう反映させている。	○	調理や掃除･洗濯等の豆知識は為になる事が多く、現場にて実践しています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている		ご家族等への報告、相談をすることにより、共にご利用者へ様々な視点から支援できるよう努めている。	○	事業者本位のケアにならないよう努めている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している		ご家族等からの意見を取り入れた上で、関係の理解に努め、より良い関係が築けるよう支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている		ご利用者の生活歴等を把握した上で、外出や面会の窓口も広げている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている		ご利用者、個々で孤立しないよう職員が間に入り、利用者同士の架け橋になれるよう努めている。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	**○関係を断ち切らない取り組み** **サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている**	退居後も、様々な意見や相談を受け入れ、ご本人の入院等の場合は、面会へ行ったり等交流を継続しいる。	○	今後も、退居後の継続的なより良い関係を築いていけるよう努めていきます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント **1. 一人ひとりの把握**				
33	**○思いや意向の把握** **一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している**	定期的な、カンファレンスによりご利用者の意向を取り入れたケアにつながるよう、検討に努めている。	○	より、ご利用者の意見を尊重し、ご本人本位のケアにあたれる様努めていきます。
34	**○これまでの暮らしの把握** **一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている**	ご家族や、ご本人の意見を反映し、様々な情報を取り入れサービス内容の検討に努めている。		
35	**○暮らしの現状の把握** **一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている**	個々のご利用者の身体面、精神面の把握を行い、日々変化の下現状把握が行えるよう、職員間においても情報を共有しケアにあたっている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	**○チームでつくる利用者本位の介護計画** **本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している**	カンファレンスにおいて様々な視点からの意見を取り入れ、ご利用者個々の状況に合わせた計画作成が出来るよう努めております。また、ご利用者主体である計画作成になるよう努めている。	○	関係各所に連絡を取り、カンファレンスに出席頂いている。
37	**○現状に即した介護計画の見直し** **介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している**	ご利用者の状況を常に把握し、随時適正に応じたプランの作成を、ご本人･ご家族等･職員にて行っている。	○	関係各所に連絡を取り、カンファレンスに出席頂いている。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	**○個別の記録と実践への反映** **日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている**	日々の記録に関しては、日中→黒･夜間→青･医療面→赤にて明確にし、職員個々での確認も徹底し、また日々の申し送りにて情報を共有し実践し、介護計画への見直し等へ反映できるよう努めている。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	**○事業所の多機能性を活かした支援** **本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている**	常に、ご利用者やご家族等の意見を聞き入れ、外出･外泊または、ご家族等の宿泊などに対応できるように努めております。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	**○地域資源との協働** **本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している**	近隣の方々に理美容や民謡･踊り･唄等のボランティアに来て頂いている。また、安心して暮らせるよう警察へは施設周辺の適時見回りもお願いしている。	○	地域資源の活用をもっと検討し、ご利用者本位の支援が出来るよう努めていきたい。
41	**○他のサービスの活用支援** **本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている**	24時間対応の医療機関との連携を行っています。他のサービスへの支援は必要に応じて検討します。	○	今後、必要性に応じて他のサービス利用も積極的に取り入れていきたい。
42	**○地域包括支援センターとの協働** **本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している**	運営推進会議にて地域包括支援センターと連絡･相談を行っている。	○	今後、地域包括センターと協働していきます。
43	**○かかりつけ医の受診支援** **本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している**	ご本人･ご家族の希望のかかりつけ医の継続を行い。ご利用者個々の、身体面･精神面を把握し、変化がある場合はご家族等や主治医へ相談･報告をし早期対応が行えるよう努めております。その他に医療面では24時間対応の支援も提携しております。	○	医療面においては、24時間安心して頂けるよう、今後も検討･支援していきます。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	**○認知症の専門医等の受診支援** **専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している**	メンタルクリニックとも連携を結び、日々のご利用者の変化に応じて連絡・相談し、早期的な対応が行えるように努めております。また、必要なご利用者においては往診も実施しています。		
45	**○看護職との協働** **利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている**	同じ建物内の看護師、または施術師等からアドバイスを頂き、健康管理に活用している。また、24時間対応の医師と連携している。		
46	**○早期退院に向けた医療機関との協働** **利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している**	入院時、病院側とご利用者の情報の共有を行っております。退院後、リハビリ等の対応においては、整骨院との協働により早期回復にも努めています。		
47	**○重度化や終末期に向けた方針の共有** **重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している**	入居契約時において、終末期における当施設の対応について説明しております。また終末期において早い段階から主治医と連携を取り、ご本人・ご家族等と都度話し合いの場を持ち、方向性の共有を図っています。	○	ご利用者・ご家族等と主治医を交え、早期的な検討を行い全体での情報共有に努めております。
48	**○重度化や終末期に向けたチームでの支援** **重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている**	入居契約時において、当施設での対応できる範囲を説明し、納得して頂いております。重度及び終末期においては職員		
49	**○住み替え時の協働によるダメージの防止** **本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている**	転移の場合は、ご利用者・ご家族等との以後の想定を踏まえて綿密に話し合い、移転先には必要な情報を提供し、転移後も相談・援助しダメージの軽減を図れるよう努めております。		

	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **1. その人らしい暮らしの支援** **（1）一人ひとりの尊重**				
50	**○プライバシーの確保の徹底** **一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない**	ご利用者への配慮を心掛けた声かけできるよう、職員へ接遇の徹底をしております。職員間でのご利用者の情報共有においてもプライバシーの侵害をしないよう配慮しております。また、記録等の保管は鍵つきの棚に収納しています。	○	個人情報が格納してあるパソコン等の媒体は席を外す際は、シャットダウンするとともに、使用時もモニターが外部から見えないように設置しています。
51	**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** **本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている**	会話の中で、利用者様主体になるよう声かけに工夫し、自己決定できるよう支援しています。		
52	**○日々のその人らしい暮らし** **職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している**	ご利用者の個々の要望を取り入れ、日常会話の中からその日の大まかな予定を決め行動実施できるよう支援しています。	○	起床・食事・入浴の時間や食事のメニュー等、できる限りご希望に添えるように支援しています。
（2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	**○身だしなみやおしゃれの支援** **その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている**	月に一度、理美容の機会を持ち、身だしなみはご本人の意思に合わせられるよう行っています。また、希望がある場合は外出の機会とし外での美容院へも出かけています。		
54	**○食事を楽しむことのできる支援** **食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている**	職員も一緒に食事をすることにより、ご利用者の嗜好等、その場での意見を反映できるよう努めています。また、調理や配膳・下膳など個々の出来る範囲内で職員と共に実施している。	○	出来る範囲内にて協力して行っています。
55	**○本人の嗜好の支援** **本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している**	ご本人が望む好みの物に関して、時間等の制限はありますが日常的に楽しめるよう支援しています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者個々の排泄パターンを把握し、定時誘導･声かけを行い、失禁軽減に努めております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	「最低一日おき」と定め、ご利用者の希望にて実施。入浴時間においてもなるべく意向に添えるよう、夕食後も実施している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ご利用者の状況に応じて、適宜休息したり、就寝時間の声掛けをしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者個々の生活歴の中での役割等を見出し、日常生活の活性化を行っています。	○	家庭菜園が出来るよう、ベランダを開放しました。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的なお金の管理は施設にて行っていますが、外出の際買い物などに関しては、ご自身にて支払いなど出来る方等、職員と共に実施しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩･外出の機会を作り、また希望時にも実施しております。公園が隣接している為、気分転換によく利用しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ﾘﾌﾄ車を活用し、車椅子ご利用者でも遠方へ外出できるように支援しています。また、ワゴン車にて定期的に他のご利用者と一緒にドライブにも出かけています。	○	出来る限り希望に添えるよう対応し、外出支援を行います。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じ、電話をご本人から掛ける、または職員にて代行するなどし、支援しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は決めておりますが、面会があった際は自由に施設内を使用していただき、居室やリビング等で有意意義に過ごして頂いています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	各職員への認識確認を徹底し、拘束のないケアに従事しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は終日開放しているが、玄関は昼夜問わず施錠している。	○	職員の更なるスキルアップを図り、常時施錠の開放を目指します。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各職員声かけのもと連携を取り、ご利用者の所在確認、状況確認に努めています。		
68	○注意の必要な物品の保管･管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意しなくてはいけない物の判断を随時見直し、すぐに取り除くのではなく危険回避の検討とともに取り組んでいる。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修にて職員の知識はスキルアップを図れるよう努めております。ご利用者の事故への可能性を検討し防止につなげ、事故に関しては起きてしまった場合は必ず、職員全体で話し合いを随時行い、再認識とともに事故防止に努めております。	○	ヒヤリハット･事故報告書を活用し事故軽減、事故防止への再認識、向上を図っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	**○急変や事故発生時の備え** **利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている**	緊急対応マニュアルを用いて対応するよう職員へ徹底しています。また救急法の研修にも随時参加し、定期的に研修を兼ねた訓練も実施しています。	○	
71	**○災害対策** **火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている**	定期的な避難訓練の実施をしています。	○	地域との協力、連携を拡げていく。
72	**○リスク対応に関する家族等との話し合い** **一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている**	ご利用者の様々な身体・精神面での変化などを、ご家族への報告。現状の対応への相談し解決にあたっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	**○体調変化の早期発見と対応** **一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている**	必要時のバイタル測定とともに、実際に職員が触れ感じ、報告する事を業務内に取り入れ、体調の変化に対応し早期発見に努め主治医と連携しています。		
74	**○服薬支援** **職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている**	服薬チェックや個々の服薬情報を職員内で共有し、把握に努めています。随時、身体面・精神面での変化等主治医との相談の上、検討実施しています。		
75	**○便秘の予防と対応** **職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる**	ご利用者個々に応じた、排便の有無を確認上、体操や食事の工夫を行っています。また、下剤の使用については主治医相談のもと正しい使用法にて行っています。		
76	**○口腔内の清潔保持** **口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている**	口腔介助、または口腔声かけ等実施。また、歯科往診時に口腔ケアの実施と職員への知識向上指導をして頂き、日々のケアにて実施できるよう努めています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別に栄養管理が必要なご利用には医師より、療養管理指導書、また医療管理下ではないが体重増加等が目立つご利用者など、必要に応じて食材納入業者の管理栄養士に都度、問い合わせ指導助言を頂いております。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	感染予防の呼びかけを職員へ行い徹底しております。 インフルエンザ予防接種は毎年実施しております。	○	感染症に対する勉強会の実施、職員認識の再確認。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生面に気をつけ消毒･過熱等管理を行い、予防に努めております。食材においては、業者から毎日配送にて鮮度管理実施。		
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	装飾品なで季節感を感じていただけるよう努めています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔面を気をつけ、季節感のある装飾などで工夫しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼リビングでの談笑の場の提供等実施。また、喫煙場所の確保も行っております。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に入居の際、ご本人の使い慣れたものなどを使用していただき居室内はご自由に、ご本人･ご家族の意見を取り入れた環境になっております。		
84	○換気･空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	ご利用者に合わせた温度設定をし、常に換気を行い過ごしやすい環境になるよう努めています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ･浴室･廊下等に手すりを設置する等、ご利用者に合った、環境整備を行っております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご利用者個々の状況に合わせ、声かけの工夫を行い混乱や失敗を防ぐよう努めています。残存機能を活かした介助にあたれるよう職員への育成も行っています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダを家庭菜園･園芸の場として提供し、隣接する公園にも希望し応じて散策に出かけている。		

Ｖ．サービスの成果に関する項目

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点･アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

居室は全て東側に位置し、リビングルームは南側に面し、日当たりが良好である。ベランダからは隣接した公園が展望でき、格好のくつろぎスペースとなっている。1階には接骨院と調剤薬局、2階には皮膚科が入っており、また24時間往診の医療機関との連携により医療面では安心して頂ける体制をとっている。